

# 「あいち男女共同参画プラン 2025～すべての人が生涯輝く、多様性に富んだ社会をめざして～」の概要について

## 策定の趣旨及び背景

本県は、2019年に「SDGs未来都市」に選定され、「人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知」をめざしている。また、新型コロナウイルス感染症拡大により顕在化した諸問題は、男女共同参画の重要性を改めて示している。

そうした中で、現行の「あいち男女共同参画プラン 2020」の計画年度が終了することから、人口減少や高齢化の進行、頻発する大規模自然災害等の社会情勢の変化や、国の「第5次男女共同参画基本計画」の趣旨を踏まえつつ、愛知県男女共同参画審議会の答申に基づき、新たなプランを策定する。

## 計画の性格・位置づけ

- 男女共同参画社会基本法及び愛知県男女共同参画推進条例に基づく計画
- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく都道府県推進計画
- 「あいちビジョン 2030」の方向性に沿った個別計画として位置づけられるとともに、県政の様々な分野における計画との連携を図り、本県における男女共同参画社会の形成の促進に関する施策を一体的に推進

## 男女共同参画をめぐる現状と課題

- 固定的な性別役割分担意識が今もなお残っている  
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えに反対する割合が、全国と比較して低い傾向にある。
- 男女の地位の不平等感が依然として残っている  
家庭、職場、社会通念・習慣・しきたりなどにおいて不平等感があり、女性を取り巻く地位・環境改善に課題が残っている。
- 就業する女性が活躍できる環境が不十分である  
勤続年数・賃金格差等の男女差が、全国と比較して非常に大きい。また、本県の主要産業である製造業を始め、様々な分野で女性管理職の割合が低い状態にある。
- 女性に対する暴力や性犯罪が依然として多発している  
DV相談件数は増加、性犯罪の認知件数も減少していない。
- 新型コロナウイルス感染症拡大により顕在化した、女性に関する諸問題への対応が求められている  
女性への家事・育児等の負担増、収入減少による貧困問題への取組が必要である。

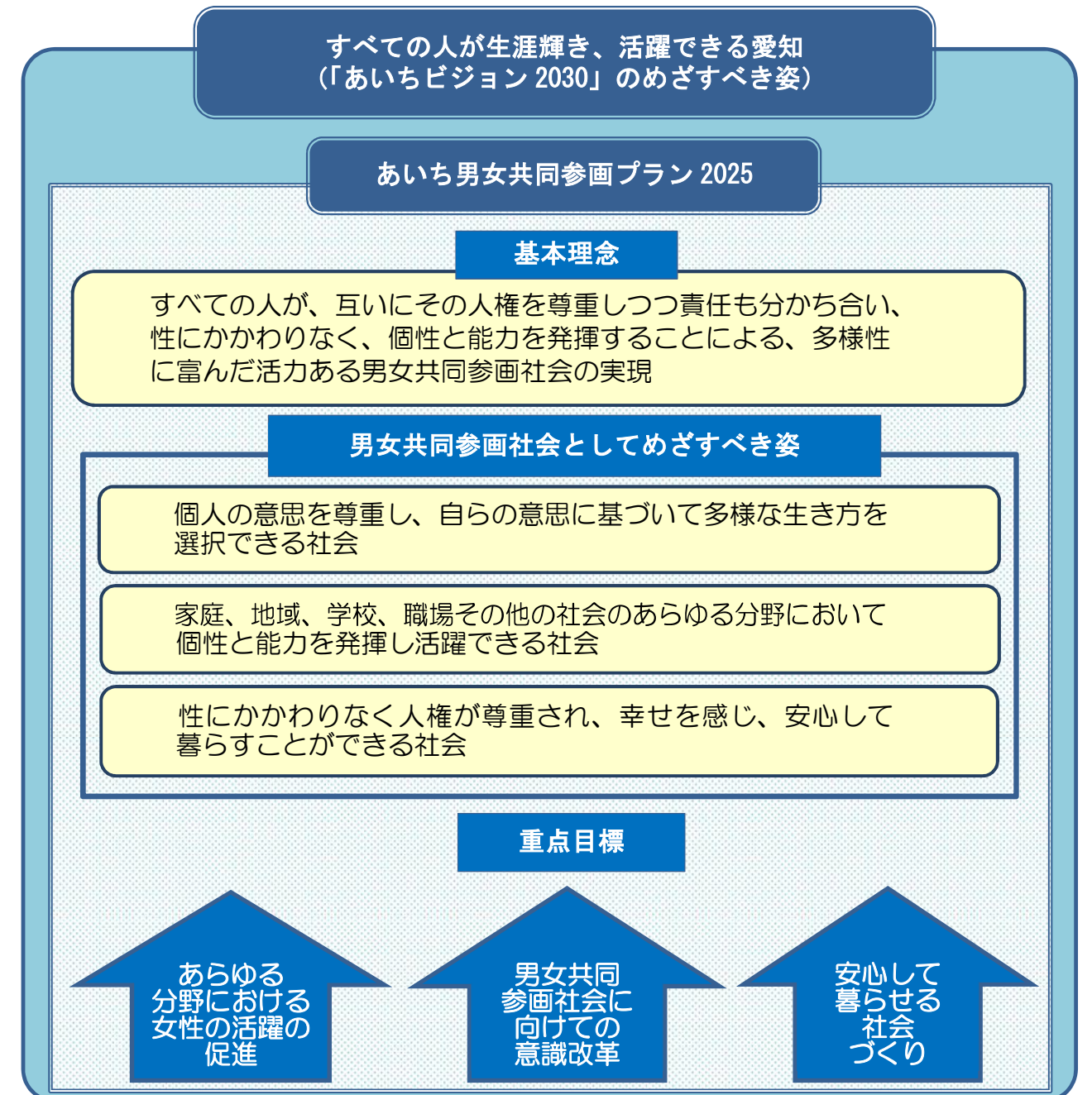
## 計画の特徴

- 男女共同参画社会の実現に向けて、10年先を見据えた「3つの重点目標」と2025年度までの5年間で取り組む「10の基本的施策」を掲げるとともに、本県の主要産業であるモノづくり産業を始め様々な分野での女性の活躍促進を図るため、「女性の活躍」を3つの重点目標の冒頭に柱立てし、これまで以上に積極的に推進する。
- 防災分野における男女共同参画の視点がますます重要となっていることから、「男女共同参画の視点からの防災の取組」を、基本的施策として明確に位置付ける。

## 計画期間

2021年度から2025年度までの5年間（2030年度までの中長期を展望）

## 本県のめざすべき姿



## 計画の進行管理

プランの推進にあたっては、42項目の進捗管理指標を設定し、その実施状況について、毎年度、議会及び愛知県男女共同参画審議会へ報告するとともに、その結果を公表する。

